

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第514号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者・はら つとむ / 編集責任者・としま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

東京オリンピックよりコロナ対策に集中を

日本共産党 あさの清美区議が代表質問

墨東病院は都立のままで充実を

日本共産党 はら つとむ区議が討論



代表質問を行う、あさの区議(6月7日、墨田区議会本会議場)

墨田区議会定例会6月議会在、6月7日から6月23日までの日程で開かれました。6月7日には代表質問が行われ、日本共産党からあさの清美区議が質問に立ちました。

東京オリンピック・パラリンピックは中止し、コロナ対策に集中を

あさの 5月17日に発表された朝日新聞の世論調査でも、「中止」と「延期」が8割以上にのぼり、「夏の五輪はやめるべき」が圧倒的な世論だ。五輪憲章の根本原則は、「人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てる」こと。開催国も世界もコロナで苦しんでいる時に、感染拡大のリスクをおかしてまで、実施すべきではない。

区長 開催都市の一人としてオリンピックの中止を求め、コロナ対策に集中することを内外に表明することについて、現在国を挙げて安全・安心な大会の実現に向けて取り組んでいる。一自治体の長として大会の中止を求める考えはない。

わが党は、繰り返し「東京五輪は中止して、コロナ対策に集中する」



コロナで影響を受けているすべての事業者へ十分な補償を行うべき

あさの 営業が継続できるような支援する「中小企業応援金」や「家賃支援給付金」を区独自に実施すること。

区長 事業者が営業を継続できるように、国や都の制度を活用し事業者に繋げていくため、区独自の給付金事業について実施は考えていない。

あさの コロナ対策緊急融資の返済猶予期間を延長すること。

区長 返済状況や国・都の対応状況を勘案すると、猶予期間ではなく、幹旋期間の延長により対応する。

あさの コロナ対策、誘客促進のための「商店リフォーム助成」を実施すること。

区長 商店リフォーム助成については考えていない。

あさの 「ものづくり」事業者の事業継続への支援を強化すること。

区長 ビジネス転換等の支援強化を図るなど、必要な経営支援策を講じていく。

あさの 生活困窮者に対し、現金給付を含めた様々な支援策を講じることを。

都心上空での無法な米軍機の低空飛行に抗議の声を上げるべき

あさの 昨年8月には、米海軍ヘリ「シーホーク」が東京スカイツリーを中心に8の字を描くような飛行をしながら急旋回を繰り返す様子が確認されている。区民の命と安全、平穏な暮らしを守るためにも、抗議の声を上げるべき。

区長 米軍ヘリの低空飛行については、必要に応じて区長会等を通じて問題提起する。

都立病院独法化反対の陳情

自民・公明が不採択に



討論を行う、はら区議(6月23日、墨田区議会本会議場)

「都立・公社病院等の一括独立行政法人化反対に関する陳情」が区民福祉委員会審査され、自民・公明が不採択にしました。

はらつとむ区議は6月23日の本会議で、不採択とする委員会報告に反対し、採択すべきとの立場で討論に立ちました。

はら区議は、「都立・公社病院は、コロナ患者対応の3分の1以上を引き受けている。民間は、規模や経営状態、スペースやスタッフ数の

関係で、コロナ病床を確保することがかなり困難なケースもあり、公的医療がカバーしてきた」「こうしたことができないのも、都直営で政策的に都財政からの必要な繰入金投入しているから」と指摘しました。また、すでに独法化された板橋区の健康長寿医療センターの例を挙げ、「病床が711床から550床に削減され、最高一日2万6000円の差額ベッド代金が求められ、入院する際には10万円の保証金が必要となつた」「そもそも独法化した後も変わらないうのであれば、独法化する必要はない」と述べました。

▼7月3日に静岡熱海市伊豆山地区で土石流災害が発生し、死者21人、行方不明者6人(7月26日現在)、570人に上る方が市内のホテルで避難生活を送っています。一時帰宅も中断したままで、生活再建の目途は、まったく立っていません。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表し、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。今回の土石流については、起点部分の「盛り土」が甚大な被害を招いた可能性のあることが濃厚になっていきます。▼近年、日本の各地で土砂崩れや河川の氾濫などの被害が広がっています。今後全国的に大雨への厳重な警戒が必要です。▼墨田区では、0メートル地帯が多くを占めています。荒川が氾濫したら2週間、水が引かない状態が続くとされています。多くの防災備蓄倉庫などが地下や1階にあり、上の階に移すなど早急な対策が必要です。

▼日本共産党墨田区議団は、7月17日「熱海市土石流の被災地への救援募金活動」を行いました。今後も被災地への復旧・復興や防災対策に努めます。

委員会の所属や役職決まる 招集議会

高柳東彦区議が災害対策特別委員長に

5/27

墨田区議会は、令和3年度定例会を開くため、5月27日に招集議会を開きました。

招集議会では、今定例会の会期を令和3年5月27日から、令和4年4月28日までの337日間と決定し、議長・副議長の選挙、各常任委員会委員の選任、特別委員会の設置と委員の選任、正副委員長の内選などが行われました。

日本共産党からは、高柳東彦区議が災害対策特別委員会の委員長に、あさの清美区議が企画・自治会振興特別委員会の副委員長に選出されました。

また、議長には木内清氏、副議長には、じんの博義氏、監査委員には、とも宣子氏が就任しました。

日本共産党区議団の委員会等の所属と任務分担

氏名	区議会常任委員会	区議会特別委員会	区の附属機関	党議員団の任務
山下ひろみ 1期 53歳	地域産業都市委員会委員	ひきこもり対策特別委員会委員	社会福祉事業団評議員	
あさの清美 2期 42歳	企画総務委員会副委員長	災害対策特別委員会委員 議会改革特別委員会委員	青少年問題協議会委員 国民健康保険運営協議会委員	副幹事長 経理責任者
としま剛 2期 48歳	区民福祉委員会委員	町会・自治会振興特別委員会副委員長 墨田区基本計画調査特別委員会委員	文化振興財団評議員 消防団運営委員会委員	区議団ニュース担当
はらつとむ 4期 39歳	子ども文教委員会委員 議会運営委員会委員	ひきこもり対策特別委員会副委員長 議会改革特別委員会委員 墨田区基本計画調査特別委員会委員	障害者施策推進協議会委員 消防団運営委員会委員	幹事長
高柳東彦 8期 64歳	地域産業都市委員会委員	災害対策特別委員会委員長	まちづくり公社評議員 都市計画審議会委員	区議団長

「学校連携観戦」は中止に

日本共産党区議団が区教育委員会に申し入れ

日本共産党区議団・同地区委員会が墨田区教育委員会に対し「五輪に子どもたちを動員する学校連携観戦の中止を求める申し入れ」を6月24日に行いました。



区教育委員会に申し入れを行う日本共産党区議団（写真左より、はら区議、としま区議、伊藤地区委員長、加藤教育長、山下区議）

都内39の自治体は、都からの通達を待たずに独自の判断で中止を決定しましたが、7月9日に東京都が「学校連携観戦」中止を発表し、墨田区はそれにならって中止を決定しました。

地域の子どもの安全に責任を負う区として、独自の判断をせず、都の方針待ちの教育委員会の姿勢は改め、パラリンピックについても直ちに中止を決断するべきです。

墨田区議会6月議会で議決された主な議案等と各党の態度

	共産	自民	公明	立憲墨	墨立憲	オン	新す	絆	無	結果
墨田区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
物品の買い入れについて（災害備蓄品）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
墨田区におけるゼロカーボンシティ宣言と2030年度温室効果ガス削減目標引き上げに関する陳情	○	○	○	○	○	×	○	○	○	採択
都立・公社病院等の一括独立行政法人化反対に関する陳情	○	×	×	○	退席	○	×	○	×	不採択
墨田区行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区手数料条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙における候補者の推薦について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決

※「立憲墨」は「立憲民主党墨田区議団」、「墨立憲」は「墨田区議会立憲民主党」、「オン」は「墨田オンブズマン」、「新す」は「新しいすみだ」、「絆」は「地域連合『すみだの絆』」、「無」は「無所属」の略。陳情は、採択に賛成が○、反対が×



天と健康 シリーズ

このところ胃ガン、食道ガンの患者が続いている。そうすると身近にもガンが見つかった、自分も気を付けようと思う。いままではピロリがいなければ2年に1度でよいといわれていた胃カメラも、毎年やるように私も決めていた。多くのガンが無症状である。胃ガンも進行してくると貧血が見つかって、体の調子が悪

くなり、胃カメラで進行ガンが見つかり、肝臓への多発性の転移が見つかる。肝転移は大腸ガンにも多く見られる。先日は、進行した食道ガンが見つかった。紹介されたので、国立ガンセンター（築地にある）を紹介し、2日後には予約がとれて受診することになった。85歳の食道ガンなので、多分、放射線を含めた治療になるだろう。他の転移がどうなっているか心配である。（今回は大腸の検査はいつもやっているのに、胃カメラを久しぶりにやったら進行ガンだった悲しい話を書く予定です。）

すみだ共立診療所 消化器のガン

85歳の女性は、長いあいだ認知症の夫の看病を終えて、ゆっくり自分の時間を残して生きていく。余生にと思っていたやさしい女性でした。一カ月前にも、食事がノドを通りにくくなったと言っていました。胃カメラをやると、も